

20北産第356号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

耶麻郡北塩原村長 小椋敏一



今後の道路行政についての意見・提案について

このことについて、別紙のとおり提出いたします。

・地域格差の是正、地方の道路整備(生活幹線道路)

高次医療施設への時間距離を短縮するために道路整備は不可欠である。

過疎化の進む地域が取り残されないようにするためには道路整備により冬期等の道路交通の確保が必要である。

・道路特定財源に関すること

道路特定財源諸税は道路整備の財源のために創設されたものであり、更に道路整備を進めるため一部税率を高くしているため、整備が遅れている地方を優先的に行うべきである。

②-1 地域の現状と抱える課題

福島県北塩原村

○ 現状

- ・今後の人口減少と、農林業生産活動の停滞
少子高齢化による過疎化が進み国土保全に
支障をきたす恐れがある。

○ 課題

- ・高齢化後継者の不足等により、山林の荒廃が進み
適正な維持管理が困難になっている。
- ・高齢化後継者の不足等により、不耕作農地が
村の農地の17%と毎年増加傾向にあり
農地の多面的機能が低下し、土地利用の
維持が困難になっている。
- ・集落のほとんどが中山間地域に存在し、少子
高齢化等により人口減少し、集落の小規模化
により集落の機能は低下し、国土の管理水準
の低下を招く恐れがある。

◦地域の生活を支える道路ネットワークの形成

◦少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少による活力低下が懸念

◦高齢化、後継者不足等により、農林業生産活動の停滞で国土管理に支障をきたす。

幹線道路の整備により、日常生活に必要な最低限の移動の確保を図ることにより、地域の活性化を図り、地域経済の強化や安心して暮らせる地域社会の形成が重要

◦安全・安心の確保

◦磐梯山火山防災マップによると、松原湖岸の道路が避難経路として指定されているが、一部冬期間通行止となっている。

今年度より本格的に工事に着手しているが、さらなる直轄率の向上を望む

◦生活環境の向上

◦当村の裏磐梯地区は国光明媚な景色が広がる地区であるが、電柱、電線が景観を阻害している大きな要因となっていることから、無電柱化を要望

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

福島県北塩原村

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
○地域生活の向上	主要地方道会津若松寒磐梯線(細野～松原)の整備	冬期間通行止の解消により 生活に必要な医療、福祉施設 通勤等に利便性が高まる。 磐梯山、火山防災マップによる 避難経路として毎年活用できる。	
○生活環境の向上	国道459号(寒磐梯地区)の無電柱化。	良好な景観形成がなされる。	